



こくさいこうりゅういん

国際交流員のおすすめ本

ほん

2021年
第1号



「こくさいこうりゆういん」ってなに？

「国際交流員」は札幌市のみなさんが外国のことを知ってなかよくするお手伝いのためのお仕事をしています。今はアメリカ、ドイツ、ロシア、フランスから来た5人のお兄さん、お姉さんが働いています。

札幌市には5つの姉妹都市があります。ポートランド(アメリカ)、ミュンヘン(ドイツ)、瀋陽(中国)、ノボシビルスク(ロシア)、大田(韓国)。全部覚えられるかな？

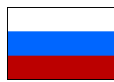


オリヴァー・ギールさん(ドイツ)

札幌の姉妹都市「ミュンヘン」からきました。

17歳で初めて日本の高等学校に留学し、1年間ホームステイをしながら日本語を勉強しました。

趣味は語学学習、写真撮影、映画鑑賞です。



フェシナ・アリヨーナさん(ロシア)

札幌の姉妹都市「ノボシビルスク」からきました。

高校生のときに初めて日本語を聞いて、言葉がまるで

歌のようだと思い、日本語を専門にしようと決めました。趣味は

カラオケと音楽鑑賞です。



ジョシュア・クロッツさん(アメリカ)

父の仕事の関係で、アメリカとヨーロッパのいろいろな町で暮らしてきました。

趣味はアメフトやラグビーなどのスポーツとクラシック音楽の演奏と鑑賞です。

保護者の方へ

札幌市では、市民の皆様の異文化理解のための活動や、姉妹友好都市をはじめとした海外諸都市との交流、札幌市の国際関係事業の企画立案などのため、海外から「国際交流員」を招致しています。札幌市国際交流員についての詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

(札幌市国際部ホームページ)



札幌市 総務局 国際部

※この冊子についてのお問い合わせは中央図書館利用サービス課(Tel.512-7320)へ

私たちの国を紹介します！



ドイツってこんな国！



ドイツは、中央ヨーロッパにある国で、27 か国からなる欧州連合(EU)の創設国のひとつであり、人口はおよそ 8300万人で EU の中でも最も人が多い国です。ドイツと接する国は9 つもあり、いつでも自由にいろいろな国に移動できます！（ちょっと国境を超えてとなりの国で買い物したりする人も多いです。）

面積は日本よりちょっと小さくて、約37万km²です。多くの国と同様、ドイツにも四季があり、北には北海とバルト海、南にはアルプス山脈があります。

隣り合う国が多いドイツには、移住を背景としている人がとても多くて、町によって人口の4割もの人が外国にルーツを持っています。そのために、ドイツ語と英語の他に、町中では様々な言語が飛び交っています。ドイツの学校や大学に学費がかからないので、他国からの留学生も年々増えています。



ロシアってこんな国！



ロシアは、世界で一番広い国で、その面積は約1,712万km²、日本より45倍大きいです。アジアとヨーロッパにまたがっていて、西端から東端までの距離は9000km以上で、飛行機で行ったら9時間、電車で行くと、6日間もかかります！気候は地域によって違いますが、季節の移り変わりがはっきりしています。また、ほとんどの土地が北海道より北にあるので、冬はとても寒いです。

ロシアの人口は日本と大きく変わりませんが、民族は180以上暮らしています。しかし、みんなロシア語で話して、キリル文字という不思議な形の文字を使っています。例えば、「ロシア」をロシア語で書くと、「Россия」(ラシーヤ)になります！

実は、「ロシア人」という言葉は、2つの意味があります。1 つは、「ロシアの国籍を持っている人」。もう1 つは、「民族はロシア人」。民族によって外見や文化が違いますが、同じように「私はロシア人」と考えている人が多いですよ！



アメリカってこんな国！



アメリカは、日本とは地球の反対側にある大きな国です。人口は約3億3000万人(日本の約3倍)で、面積は日本の約26倍です。50の州があり、首都はワシントンD.C.です。

ほとんどのアメリカ人は英語を話しますが、アメリカの家庭は他の国とのつながりがあることが多いので、スペイン語、中国語、アラビア語など、さまざまな言語を話す人が多いです。

こんなおしごとをしているよ

あさ

朝の 9:00 に市役所に着くと、メールを確認して、いろいろに返信した後、市の様々な資料を翻訳する作業を始めます！時には、いろいろな人のために通訳をしたり、札幌の学生に発表をしたりと、楽しくて面白いイベントがあります。常に、札幌市の人に母国について紹介したり、もっと国際的な札幌を作るために頑張っています！

(ジョシュアさん)

ごぜん

メールをチェックし、一日のプランを決めたあとは最新ニュースを読んで、母国で今、何が起きているか調べます。また、自分の国の文化や言葉、出身地などについての記事を書くようによく頼まれるので、そのためにまず必要な情報を集めて整理します。

(アリョーナさん)

ごご

午後は様々なプロジェクトの作業に取り組みます。毎日やることは異なるけれど、母国を紹介するプレゼンテーションの準備をしたり、国際交流プラザのYouTube にアップロードする動画を編集したりします。札幌の国際交流員の大きな仕事のひとつは姉妹都市との連絡と周年事業の準備です。例えば、姉妹都市の方とオンラインミーティングでどんな交流ができるかを相談したりします。

(オリヴァーさん)

ほか…

札幌のような寒い冬を経験する都市同士をつなぐために、毎年国際会議を開催している「世界冬の都市市長会」を手伝っています！例えば、会議や打ち合わせの通訳、世界各国の都市とのコミュニケーションなどを行っています。

冬といえば、クリスマスです！札幌のミュンヘンクリスマス市は有名ですね！他にも一人ひとりの国際交流員は、この時期に母国のクリスマスの特徴をプレゼンテーションや記事で紹介します！

秋が近づきましたね。

秋といえば、姉妹都市交流の時期！私たちが国際交流員は、母国と日本との交流の架け橋として働き、通訳や翻訳をしたり、ガイドをしたり、イベントのとき手伝ったりしています。とても忙しいですが、楽しい仕事です！

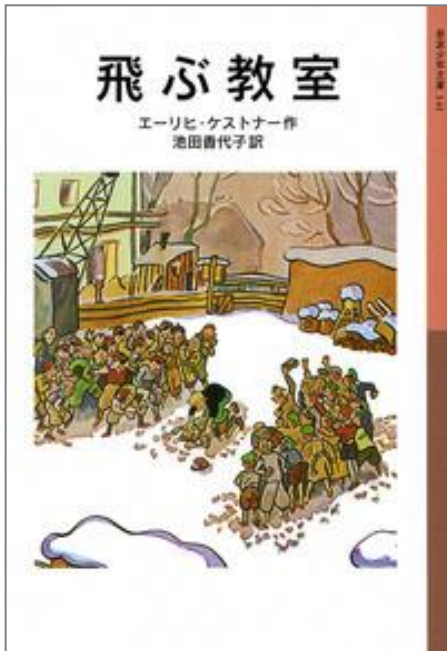
今日も1日
おつかれさま
でした！



世界の本を読んでみよう！



オリヴァーさんのおすすめ！



と きょうしつ 『飛ぶ教室』

エーリヒ・ケストナー 作
池田 香代子 訳



物語の舞台は第一次世界大戦後のドイツ。5人の少年たちを中心に、彼らの寄宿学校での生活の様子が描かれています。腕っぴしが強くボクサー志望のマティアス、貧しくも成績優秀なマルティン、貴族のお坊ちゃん、臆病なウーリ、クリスマスのために「飛ぶ教室」という劇を書いた文学少年のジョニー、クールなゼバステアーン。

個性ゆたかな少年たちそれぞれの悩み、悲しみ、そしてあこがれ。彼らはクリスマスシーズンの学校でさまざまな事件に遭遇し、大人たちの助けも借りながら、知恵と勇気で解決していきます。同級生が他の学校の生徒に誘拐されたり、雪合戦で戦ったり、クリスマス劇のリハーサルでウーリが大怪我をしたり…。

寄宿学校に涙と笑いのクリスマスがやってきます。

保護者の方へ



本作は30ヶ国以上で翻訳され、ドイツで3回映画化された世界的に有名な物語です。作者はドイツの作家で詩人でもあるエーリヒ・ケストナーで、本作が書かれた1933年はナチスが政権をとった年でした。多くの作家が執筆を制限されていた中、人気作家であったケストナーは、児童文学のみの執筆が許されていました。

彼は本作を通して、世の中には楽しいことだけでなく、辛いことや苦しいことも同じだけあるということを包み隠さず伝えようとしていました。



アリョーナさんのおすすめ！

『新訳チェブラーシュカ ワニのゲーナとおともだち』

エドゥアルド・ウスペンスキー 作

児島 宏子 訳



毛が茶色で、ぱっちりとした大きな目、ふさふさした短い尻尾…「チェブラーシュカ」(転んでばかりいる！という意味)と人間に呼ばれたけど、一体何者なのかな？サルでもなく、クマでもない不思議な動物だね。

ある日、そのチェブラーシュカはオレンジの箱に飛び込んで、おなかごま丸になるまでオレンジを食べて、そのままぐっすり眠ってしまった。すると、なんと知らない国に送られたよ！仲間がいない、自分が何者さえ分からないチェブラーシュカは、古い電話ボックスで暮らすようになった。

同じ町の動物園で「ワニ」として働いていたとても優しいゲーナは、友達募集を始めた。そして、「ぜひ遊びに来てください」と書いたお知らせを見たチェブラーシュカは、ゲーナと少女のガーリヤと出会って初めての友達がやっとなできたよ！

この三人は、力を合わせて、一人で寂しがっている人や動物の仲間探しを手伝うことにして、たくさんの出来事があったらしい！何が起こったのかな？この面白いストーリーを読んで調べてみよう！

保護者の方へ

皆さまにとって、「チェブラーシュカ」は馴染みのある名前でしょうか？日本のアニメで登場していた可愛らしいキャラクターですが、もともとは「ワニのゲーナとお友達」という物語の主人公の一人です。ロシア児童文学を代表する本物語が、1966年に有名なエドゥアルド・ウスペンスキーという作家により書かれ、その2年後にはアニメ化されました。現在もロシア人なら知らない人がいないほど大ヒットしています。

多言語化された本作品は、日本をはじめ、海外の様々な国で人気を集めました。その理由はとても簡単で、チェブラーシュカとゲーナの感動させる会話から分かるでしょう。

「あのね、ぼくが、だれだかわからなかったら、ぼくとなかよくしてくれないの？」

とチェブラーシュカが聞いたら、

「すべて、きみしだいだよ。きみがとてもよいともだちなら、ぼくたちは、よろこんで、きみとなかよくするよ。」

とゲーナが答えました。つまり、本作品は、外見や性格が違って、それを受け入れる、お互いを認め合う、または助け合うのが大事だということを優しく教えてくれます。

子供向けの本ですが、大人は大きく成長した子供にすぎないとよく言われていますので、大人の皆さんでも読みながら気持ちのリフレッシュができるかと思います。

世界のスポーツを知ろう！



ジョシュアさんが、アメリカで大人気の
アメリカンフットボールについて教えてくれたよ！



アメリカで1番人気なスポーツが何か知っていますか？
世界中ではサッカーがとても人気だと思いますけど、アメリカでは多くのおおひとはアメリカンフットボールというスポーツが好きです！

アメフトは長いフィールドの上で、2つのチームのそれぞれ11人がオフェンス(攻撃側)とディフェンス(守備側)でプレーします！スーパーボウルと呼ばれる、プロアメリカンフットボールリーグの優勝決定戦は、アメリカの最大スポーツイベントで、毎年アメリカで最も視聴されているテレビ番組です。

私は10歳からアメフトを始めて、今までの14年ずっとやっています！

アメフトは、アメリカの子どもたちに人気のスポーツです。中学校や高校の部活では、アメフト部に入る人が1番多いです。私は何かスポーツをしようと思い、体格的に向いていたので、アメフトを始めました。

図書館から本の紹介

アメリカではアメフトがとても人気なんですね！

ジョシュアさんのユニフォーム姿も、とってもカッコいいです。

将来の夢はアメフト選手！という子どもたちもきっとたくさんいるのでしょうね。

図書館には、アメリカンフットボールに関するこんな本があります。

- ・『ヒーローなんてぶっとばせ』 ジェリー・スピネツリ/作 J93/ス
- ・『有馬隼人の楽しい！はじめてのアメフト』 有馬隼人/著 J78/ア
- ・『リスタート』

ゴードン・コーマン/作 千葉茂樹/訳 S933.7/コマ
ほかにもいろいろ…

ぜひ読んでみてね！



外国語でいってみよう！

としょかん
図書館

英語で…**Library**(ライブラリー)
ドイツ語で…**Bibliothek**(ビブリオテーク)
ロシア語で…**Библиотека**(ビブリオテーカー)

ほん
本

英語で…**Book**(ブック)
ドイツ語で…**Buch**(ブッフ)
ロシア語で…**Книга**(クニーガ)



お手紙ぼしゅうちゅう！

こくさいこうりゅういん
国際交流員さんへ、みなさんからのお手紙を大募集中！

- おすすめの本を読んだ感想
- それぞれの国に関する本や、この冊子を読んで、交流員さんに質問してみたいなと思ったこと
- この展示コーナーの感想

など…

てがみ
お手紙を書いたら、てんじ
展示コーナーにある
あか
赤い「せんようポスト」に入れてね。
へんじ
もしかしたらお返事がもらえるかも！

みんなからの
てがみ
お手紙
まってるよ！

